

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【五明小学校】

◎ 年間を通して、地域に根差した様々な活動を、幼稚園と小学校とが連携して行っている。

<第1・2学年：みこしパレードをしよう>

みこしパレードは、地方祭前に、幼稚園と小学校の子どもたちが、それぞれに作ったみこしをかついで地域を練り歩くという、秋の恒例行事となっている。

今年は、まず幼稚園で作成したパレードで歩くための地図を見せてもらった。2年生児童はそれを見ることで、昨年の「みこしパレード」のことを思い起こし、自分たちのみこし作りのモチベーションが高まった。作っている最中に、校庭から幼児の「ワッショイ！ワッショイ！」という威勢の良い声が聞こえてくると、

「ぼくたちもかつぎたい。」という声が聞かれ、それぞれの活動が互いに良い刺激となっていた。パレード当日は、雨天のため小学校のみこしはかつげなかったが、幼児のみこしをかつぐ手伝いを積極的に行い、「地域に神様を届ける」という役割を最後までやり遂げることができた。幼稚園と小学校の教師が、目の前の子どもの姿に応じて、いろいろな手立てを講じたことで、幼児・児童の主体的かつ協働的な活動につながった。



<第3・4学年：さつまいもパーティーをしよう>

中学年の総合的な学習の時間の活動の一つに、幼稚園児とのさつまいも作りがある。この活動は、春に地域の公民館長から芋苗の植え方を教えてもらうところから始まり、秋の収穫、パーティーへとつながる。

幼稚園児とは、日常的に交流を行っているため、互いに名前を呼び合い、和やかな雰囲気の中で活動を進められた。「〇〇くん、ここ持って。」「〇〇ちゃん、上手やね。」と、積極的に声を掛けたり、手助けをしたりする中で、思いやりの気持ちが育まれている。



◎ 地域に根差した活動の一つ一つを通して、身の回りの人への感謝の気持ちが高まり、五明地区を大切に思う心情が育っている。